自治会員のためのコロナウイルス対策

— PCC通 信 Personal Combat to COVID-19 —

スマホからも↑

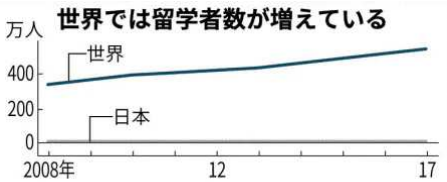
個人でできるコロナウイルス対策情報集

Date/Title	2020/5/12-2　4 月入学は主要 20 カ国・地域（G20）でも日本とインドのみ
記事名称	G20、4 月入学は日印のみ 留学や大学競争力にも影響　米欧・中国などとズレ
発信者	日本経済新聞
発信日	2020/5/12
概要	＜記事抜粋＞ 学校の始業や入学時期を 9 月にずらす「9 月入学」の議論が活発になってきた。諸外国を見渡すと 4 月入学は主要 7 カ国（G7）で日本だけ、20 カ国・地域（G20）でも日本とインドのみだ。時期のズレが留学の壁になり、日本の大学の国際化が遅れる一因とみられている。 ▪ 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、政府と与野党、地方自治体の首長らが 9 月入学の議論を始めた。休校の長期化に伴う学習の遅れをできるだけ少なくし、米欧などに時期を合わせる好機とも捉える。———中略 ▪ 国際社会の主要国とのズレは日本の学生が海外に留学しにくい環境をつくる。高校を卒業して大学に入学するまで半年ほどの期間が空き、学年は 1 つ遅れる。国内企業は 3 月の卒業に合わせた採用日程を組む場合が多く、就職活動にも影響する。 ▪ 国連教育科学文化機関（ユネスコ）によると、大学などの高等教育機関への 1 年以上の長期留学者数は世界で増加している。2017 年の留学者の総数は約 530 万人で、10 年間で 1.7 倍になった。 ▪ 海外に留学する学生が世界で最も多いのは中国だ。———中略 ▪ 中国からの行き先で最多は米国の 32.2 万人、2 位以下はオーストラリアが 12.8 万人、英国が 9.7 万人、日本は 4 位の 7.9 万人だ。韓国も米国が一番多く 5.6 万人、次が日本で 1.3 万人になる。 ▪ アジアからの留学先で日本は依然上位に入るものの、その他の地域では人気が低い。

G7とG20各国の主な入学時期

1～2月	オーストラリア、ブラジル、南アフリカ
3月	アルゼンチン、韓国
4月	日本
	インド
7月	インドネシア
7～9月	米国
8月	ドイツ
	メキシコ
9月	英国、フランス、イタリア、カナダ
	中国、ロシア、サウジアラビア、トルコ

(注) 外務省の2017年調査、米国の一部の州と中国は18年。太字はG7



(注)ユネスコ調査、高等教育機関へ1年以上

自治会員のためのコロナウイルス対策

— PCC通 信 Personal Combat to COVID-19 —

スマホからも↑

個人でできるコロナウイルス対策情報集

	▪ 学生の受け入れ数が多いのは米国、英国、オーストラリアの順で、米国には全体の 2 割近い約 98 万人が留学する。日本は全体の 3%にあたる約 16 万人で、中国やベトナム、ネパールが出身国の上位となる。 ▪ 入学時期のズレは大学の競争力にも影を落とす。英教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーションが発表した 20 年の世界大学ランキングでは上位を米欧の大学が占めた。 ▪ 日本は 100 位以内に東京大（36 位）と京都大（65 位）の 2 校しか入らなかった。留学者数や外国籍の教職員数が評価指標に含まれ、日本の大学の弱点とされる。 ▪ 東大は海外の大学に後れを取るとの危機感から 11 年に秋入学を検討した。経済界も後押しを表明し、一時は機運が高まった。最終的に追随する大学がなく移行を見送った。———中略 ▪ 9 月入学の実現には義務教育期間を定めた学校教育法などの改正が必要になる。会計年度の見直しの議論も不可欠だ。安倍晋三首相は 4 月 29 日の衆院予算委員会で「前広に様々な選択肢を検討したい」と述べた。 ▪ 杉田和博官房副長官は 4 月 30 日、関係府省の事務次官に論点整理を指示した。政府は夏をめどに結論を出す予定で、実現する場合は来年秋からの移行を想定する。今秋の臨時国会への関連法案の提出を念頭に置く。 ▪ 9 月入学では移行期にあたる 4～8 月の保護者や学生らの負担増をどうするかといった課題がある。教育現場の混乱も予想されるため、政府は早急に課題を洗い出す。
詳細は URL へ	[短縮 URL] https://cutt.ly/Oyb22zv
備考	